

単元名 文字の組み立て方(上下)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 上の部分と下の部分の高さと点画の形の変化を理解し、文字の組み立て方に気を付けて書くことができる。
 (2) 文字の組み立て方に気を付けて、自分の課題を考えて書くことができる。
 (3) 文字の組み立て方に気を付けて、字形を整えて書こうとする。

標準的な展開例

04020202_001

【教材名】『笛』（毛筆）（P. 32～P. 33）

【準備等】水書板，電子黒板，練習用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 上の部分と下の部分との組み立て方に気を付けて『笛』を書く。</p> <p>★上の部分と下の部分との組み立て方に気を付けて書こう</p> <p>○毛筆と硬筆で『笛』を試し書きし，課題をつかむ。</p> <p>○試し書きと教材文字を比較して，気付いたことを話し合う。</p> <p>○練習する。</p> <p>○まとめ書きをする。</p> <p>○試し書きと比べて評価する。</p> <p>○硬筆でまとめ書きをする。</p> <p>○上下の組み立て方の文字を探し，硬筆で書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆はP. 33の「ためし書き」の欄を活用させる。 ・教材文字を見て，『竹』が「たけかんむり」になったときの変化に着目できるように支援する。 ・『竹』と『由』の高さと点画の変化を確認する。 <p>【評】話し合いの様子や作品を通して，点画の高さと形の変化に対する「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字形が確かめられる練習用紙を配付し，全体で筆順などを確認しながら練習させるようにする。 ・DVDの筆使いの動画を見せ，「はらい」や「折れ」などの難しい部分の筆使いを確かめるように促す。 ・自分の課題に合った練習用紙を選択させて練習できるようにする。 <p>【評】練習や作品を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣同士でよくなったところを伝え合うようにする。 <p>【評】作品や自己評価を通して，上下の組み立て方や自分の課題を考えて書く「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬筆はP. 33の「まとめ書き」の欄を活用させる。 ・教科書P. 57～P. 60の「漢字表」を使って，文字の組み立て方が上下に分かれており，かつ幅の取り方が同じくらいの文字を探して書かせる。 ・「かんむり」が中心となるが，それ以外でも幅の取り方が似ているものを探して書いてもよいこととする。 ・硬筆でも高さと点画の変化に気を付けて書くよう助言する。

【 備 考 】